



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月29日

上場会社名 株式会社トクヤマ

上場取引所 東

コード番号 4043 URL <https://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 小林 太郎

TEL 03-5207-2552

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	76,465	0.8	7,026	△20.9	6,298	△27.4	4,859	△27.0
2019年3月期第1四半期	75,825	4.6	8,883	4.6	8,677	11.9	6,658	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3,951百万円 (△34.8%) 2019年3月期第1四半期 6,056百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	69.97	—
2019年3月期第1四半期	95.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	375,314	165,648	41.3	2,230.75
2019年3月期	379,630	163,525	40.2	2,199.83

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 154,933百万円 2019年3月期 152,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	343,000	5.7	39,000	10.6	39,000	16.8	30,500	△11.0	438.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	69,934,375 株	2019年3月期	69,934,375 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	480,862 株	2019年3月期	482,765 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	69,452,147 株	2019年3月期1Q	69,555,356 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2019年7月29日に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2020年3月期 第1四半期連結累計期間	76,465	7,026	6,298	4,859
2019年3月期 第1四半期連結累計期間	75,825	8,883	8,677	6,658
増減率	0.8%	△20.9%	△27.4%	△27.0%

(売上高)

半導体関連製品等の主力製品を中心に販売は軟調に推移しましたが、前年7月の新規連結子会社の発生により、前年同期より6億40百万円増加し、764億65百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

(売上原価)

石炭等の原燃料コストの増加等により、前年同期より15億90百万円増加し、533億43百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

新製品の上市に伴う広告宣伝費の増加や、前年7月の新規連結子会社の発生による人件費の増加等により、前年同期より9億6百万円増加し、160億95百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

(営業利益)

各事業の販売が軟調に推移したことにより、前年同期より18億57百万円減少し、70億26百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、前年同期より5億21百万円悪化しました。

以上の結果、経常利益は、前年同期より23億78百万円減少し、62億98百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期より90百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より22億88百万円減少し、61億58百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より19億19百万円減少し、49億29百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より17億99百万円減少し、48億59百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

(セグメント別の状況)

当第1四半期連結会計期間より、一部子会社の経営管理区分の変更を行っており、以下の前年同四半期比較については、当該変更を反映した前年同四半期の数値で比較しております。

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
2020年3月期 第1四半期 連結累計期間	24,292	12,118	21,480	13,513	15,811	87,216	△10,751	76,465
2019年3月期 第1四半期 連結累計期間	25,119	13,005	22,172	12,655	12,711	85,664	△9,839	75,825
増減率	△3.3%	△6.8%	△3.1%	6.8%	24.4%	1.8%	—	0.8%

営業利益

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
2020年3月期 第1四半期 連結累計期間	3,868	1,598	666	665	942	7,741	△715	7,026
2019年3月期 第1四半期 連結累計期間	4,896	1,922	870	847	942	9,479	△595	8,883
増減率	△21.0%	△16.8%	△23.4%	△21.4%	△0.0%	△18.3%	—	△20.9%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、販売数量は堅調に推移したものの、原燃料価格の上昇及び海外市況の下落により、減益となりました。

塩化ビニル樹脂は、販売価格の維持に努めたことにより、増益となりました。

酸化プロピレンは、自動車部材向けの販売数量が減少したことにより、減益となりました。

塩化カルシウムは、販売数量が軟調に推移したこと、及び物流費の増加等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は242億92百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は38億68百万円（前年同期比21.0%減）で減収減益となりました。

(特殊品セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンと放熱材は、販売が堅調に推移し、前年同期並みの業績となりました。

電子工業用高純度薬品は、半導体業界向けの販売数量が減少し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は121億18百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は15億98百万円（前年同期比16.8%減）で減収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、一部価格是正の効果はあったものの、国内の出荷が軟調に推移したこと等により、減益となりました。

資源リサイクルは、ほぼ前年同期並みの業績となりました。

連結子会社は、セメント関連製品の出荷が軟調に推移し、減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は214億80百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は6億66百万円（前年同期比23.4%減）で減収減益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、メガネレンズ用フォトクロミック材料の出荷が好調に推移し、増益となりました。

歯科器材は、海外を中心に販売数量は増加しましたが、新製品の上市に伴う広告宣伝費等の増加により、減益となりました。

医療診断システムは、検体検査自動化システムで国内の大型案件を獲得し、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は135億13百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は6億65百万円（前年同期比21.4%減）で増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,753億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億15百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品が23億52百万円、現金及び預金が14億67百万円、土地が10億34百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が89億79百万円減少したことによるものです。

負債は2,096億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億38百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等が25億36百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が19億49百万円、賞与引当金が10億7百万円減少したことによるものです。

純資産は1,656億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億23百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が、配当の支払いにより減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げにより31億20百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、為替や原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移しております。そのため、2019年4月26日に公表した業績予想を据え置きます。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,613	70,080
受取手形及び売掛金	80,358	71,378
リース債権	30	30
商品及び製品	16,458	18,810
仕掛品	9,554	8,965
原材料及び貯蔵品	17,462	17,069
その他	10,554	11,044
貸倒引当金	△94	△88
流動資産合計	202,936	197,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	106,214	106,690
減価償却累計額	△76,233	△76,668
建物及び構築物(純額)	29,981	30,021
機械装置及び運搬具	459,535	460,083
減価償却累計額	△414,813	△416,061
機械装置及び運搬具(純額)	44,721	44,022
工具、器具及び備品	22,106	22,102
減価償却累計額	△19,905	△19,899
工具、器具及び備品(純額)	2,201	2,202
土地	32,296	33,331
リース資産	4,548	4,598
減価償却累計額	△2,237	△2,331
リース資産(純額)	2,311	2,266
建設仮勘定	4,592	5,294
有形固定資産合計	116,104	117,138
無形固定資産		
のれん	208	58
リース資産	71	65
その他	1,693	1,655
無形固定資産合計	1,973	1,779
投資その他の資産		
投資有価証券	21,718	20,730
長期貸付金	2,444	2,440
繰延税金資産	21,091	21,945
退職給付に係る資産	9,796	10,277
その他	3,621	3,768
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	58,614	59,105
固定資産合計	176,693	178,022
資産合計	379,630	375,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,268	47,079
短期借入金	4,361	3,465
1年内返済予定の長期借入金	12,667	12,696
リース債務	758	752
未払法人税等	3,816	1,279
賞与引当金	2,664	1,657
修繕引当金	3,569	3,763
製品保証引当金	137	74
損害賠償損失引当金	91	91
事業再構築引当金	233	222
その他	17,680	16,870
流動負債合計	93,248	87,953
固定負債		
長期借入金	109,411	107,432
リース債務	1,767	1,725
繰延税金負債	220	173
役員退職慰労引当金	224	222
株式給付引当金	48	62
修繕引当金	1,546	2,013
解体撤去引当金	—	550
製品補償損失引当金	260	243
環境対策引当金	222	222
退職給付に係る負債	2,149	2,176
資産除去債務	6	6
その他	6,999	6,882
固定負債合計	122,856	121,712
負債合計	216,104	209,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,018	20,018
利益剰余金	121,901	125,022
自己株式	△1,823	△1,817
株主資本合計	150,095	153,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,566	△1,806
繰延ヘッジ損益	△61	△54
為替換算調整勘定	1,672	1,009
退職給付に係る調整累計額	2,640	2,561
その他の包括利益累計額合計	2,685	1,710
非支配株主持分	10,743	10,715
純資産合計	163,525	165,648
負債純資産合計	379,630	375,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	75,825	76,465
売上原価	51,752	53,343
売上総利益	24,072	23,121
販売費及び一般管理費		
販売費	10,033	10,633
一般管理費	5,155	5,461
販売費及び一般管理費合計	15,188	16,095
営業利益	8,883	7,026
営業外収益		
受取利息	18	89
受取配当金	232	191
持分法による投資利益	204	247
業務受託料	436	421
団体定期保険配当金	181	211
その他	710	564
営業外収益合計	1,783	1,725
営業外費用		
支払利息	801	443
解体撤去引当金繰入額	—	550
業務受託費用	415	434
為替差損	—	284
その他	772	741
営業外費用合計	1,989	2,453
経常利益	8,677	6,298
特別利益		
固定資産売却益	5	4
補助金収入	—	12
保険差益	44	—
特別利益合計	50	16
特別損失		
固定資産売却損	—	15
災害による損失	—	13
固定資産処分損	148	127
訴訟関連費用	132	—
特別損失合計	281	156
税金等調整前四半期純利益	8,446	6,158
法人税等	1,597	1,228
四半期純利益	6,849	4,929
非支配株主に帰属する四半期純利益	190	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,658	4,859

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	6,849	4,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△447	△232
繰延ヘッジ損益	7	6
為替換算調整勘定	△174	△646
退職給付に係る調整額	△59	△78
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	△27
その他の包括利益合計	△793	△978
四半期包括利益	6,056	3,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,866	3,884
非支配株主に係る四半期包括利益	190	67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	24,952	10,013	21,969	12,084	6,805	75,825	—	75,825
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	166	2,992	202	571	5,905	9,839	△9,839	—
計	25,119	13,005	22,172	12,655	12,711	85,664	△9,839	75,825
セグメント利益	4,896	1,922	870	847	942	9,479	△595	8,883

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	24,114	9,065	21,256	13,053	8,975	76,465	—	76,465
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	178	3,053	224	459	6,835	10,751	△10,751	—
計	24,292	12,118	21,480	13,513	15,811	87,216	△10,751	76,465
セグメント利益	3,868	1,598	666	665	942	7,741	△715	7,026

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分していた子会社の一部について、「ライフアメニティー」へ報告セグメントの変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。